

事業概要【食べてみとん愛顔になるけん！】

旧制度（推進）

ニューノーマルに対応した愛媛の農林水産物のブランド化・販売促進事業

申請者	愛媛県ほか3自治体	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,204,962千円 (256,455千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<p>○グローバルな取組みや海外需要の獲得に向けた取組みを進めることによる愛媛の農林水産物のブランド化と販売促進による地域経済の活性化</p> <p>○若者が魅力を感じる持続可能な儲かる農林水産物を実現し、若い新規就業者の増加や定着率の向上、地方への人の流れをつくる</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>【事業概要】 販路拡大に向けた営業力の強化、売れる商品づくりの推進等に取り組むことで、愛媛の農林水産物の実需を拡大し、所得の向上、雇用拡大につなげる。</p> <p>【主な経費】 [愛媛県] ○販路拡大に向けた営業力の確立 ・既存営業案件の発展・拡大 (18,188千円 委託料、事務経費) ○IT活用等による新たなビジネス機会や商流の創出 ・リアルとデジタルの両輪での営業活動の推進 (102,442千円 委託料、負担金 等) ○売れる商品づくりの推進 ・競争力の高い本県ブランドの確立 (23,373千円 委託料、負担金 等) [八幡浜市] ○地域製品のブランド力強化 ・新たな産品開発・磨き上げと普及・ブランディング (18,139千円 委託料、負担金 等) ○大都市圏・海外等での販路開拓・拡大 ・首都圏や関西圏等の大消費地での販路開拓 (14,241千円 負担金、補助金 等) ・海外販路開拓 (7,033千円 補助金、トップセールス旅費 等) [大洲市] ○地域ブランド産品のクロスユース拡大 (EC×観光×ふるさと納税) ・EC、店舗での販路拡大、開拓支援 (EC×店舗でクロスユース拡大を狙える体制作り) (8,947千円 委託料、補助金 等) ・地域ブランド販売力・PR力強化支援 (8,000千円 委託料) ○芋煮等郷土料理国内外発信事業 ・リアルとデジタル両軸の認知度向上事業 (7,533千円 補助金、負担金 等)</p>		<p>えひめ愛ある食の市</p> 
KPI	<p>本事業の取組みを通じた県関与年間成約額(農林水産物) (+125億円)</p> <p>本事業の取組みを通じた県関与年間成約件数 (+1,312件)</p> <p>「愛」あるブランド産品の年間販売額 (+20.5億円)</p>		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.ehime.jp/page/50114.html (効果検証) https://www.pref.ehime.jp/page/50114.html</p>

※愛媛県、八幡浜市、大洲市、砥部町の広域連携事業

事業概要【愛媛発の暮らし方改革提案と新たなコミュニティ形成による若者世代呼び戻しプロジェクト】

申請者	愛媛県、八幡浜市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	700,624千円 (144,142千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>・本県の将来を担う若者世代の地方回帰・定着の流れを力強く生み出す仕組みを構築し、自己実現を達成できる場所として、若者世代がゆとりと潤いのある豊かな生活を送ることができる移住地域づくりを目指す。</p> <p>・移住から定住までの重層的なサポート体制の構築により、移住者の定住促進と「人が人を呼ぶ好循環」の創出を図る。</p> <p>・オンライン移住コミュニティを活用し、本県への移住意識を醸成するとともに、移住不安要素を解消することで、移住意欲の向上を図る。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 関係人口創出と若者世代の呼び込み、オンライン移住コミュニティの構築等に取り組み、若者世代がゆとりと潤いのある豊かな生活を送ることができる移住地域づくりを実現する。</p> <p>【主な経費】 [愛媛県] ○若者世代の地域受入基盤強化事業（77,924千円 委託料、事務経費） ・企業も含めた移住と仕事の一体的な移住定住支援相談ワンストップ窓口の運営 ・インスタグラムなどSNSを活用した定期的なアプローチによる愛媛ファンの呼び込み及び定着 ・企業や社員の成長と地域の課題解決を目指す企業合宿型ワーケーションのマッチング促進による企業版関係人口の創出 ・「地域みらい留学」参画校での学校体験等の実施、県内全国募集実施校の生徒募集に係る情報発信 等 ○次世代型コミュニティ拡充事業（36,809千円 委託料） ・リモート関係人口を含めた移住潜在層向け「オンライン移住コミュニティ」の充実 ・大阪圏及び名古屋圏におけるPRの強化 等 ○暮らし方・働き方改革両面での人材誘致強化事業（9,665千円 委託料、講師謝金・旅費 等） ・SNS等の活用や講座・セミナーの開催による愛媛の農林業の魅力発信 等</p> <p>[八幡浜市] ○移住者受入のための市民の意識醸成（400千円 補助金） ・移住・定住に関する推進体制の整備 ○市の暮らし・魅力発信事業（2,500千円 補助金、委託料 等） ・定住支援員を設置し、ポータルサイトやSNSの活用、移住フェアへの参加等を通じて、当市の暮らし、魅力等を発信するとともに、多様な主体と連携しながら、ワンストップで相談に応じる ○ふるさと・キャリア教育推進事業（1,561千円 負担金、委託料 等） ・中学生がふるさとに愛着や誇りを持つこと、また地元企業への理解を深める目的とした大学との連携事業 等 ○UIターンによる新規就農者確保・育成事業（15,283千円 補助金） ・就農を目指す新規就農希望者に対する支援 等</p>		<p>全国募集実施校の寮を見学する他県中学生</p> 
KPI	<p>①県外からの移住者数に占める20代及び30代の人数（+2,289人） ②県外からの移住者に占める20代及び30代の割合（+11.7%） ③地域おこし協力隊の定着率（+11.5%） ④地域留学入学生徒数（+290人）</p>		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.ehime.jp/page/50114.html (効果検証) https://www.pref.ehime.jp/page/50114.html</p>
※経費内訳はR7年度事業費	<p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>		

事業概要【若年者の就職・結婚等ライフデザインの希望を叶えるための企業行動変容支援プロジェクト】

申請者	愛媛県ほか2自治体※	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	326,140千円 (121,670千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的・効果	<p>・「愛媛で就職し、結婚・出産の希望を叶え、安心して子育てを行い、仕事と家庭の両立ができる社会」の実現を図る。</p> <p>・企業・事業者への支援や意識醸成のセミナーを実施することにより、若年者（特に女性）から選択される企業・事業者への変革を図る。</p> <p>・出会いの場を提供する事業の実施により、若年者の結婚の望みを叶え、県内定着を図る。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <p>セミナーの開催や若年者の就職・結婚等ライフデザインの希望を叶えるための企業への支援を通して、働き方改革や職場環境の改善などを促進し、「愛媛で就職し、結婚・出産の希望を叶え、安心して子育てを行い、仕事と家庭の両立ができる社会」の実現を図ることで、出生数の増加、転出超過の解消につなげる。</p> <p>【主な経費】</p> <p>[愛媛県]</p> <p>○人口減少問題に関する意識醸成（8,349千円 委託料）</p> <ul style="list-style-type: none"> 働き方や職場環境の改善による仕事と家庭の両立に向けた、企業を対象にしたセミナーの開催 <p>○若年者の県内定着・仕事と家庭の両立に向けた企業への支援（95,560千円 委託料、事務経費）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ひめボス宣言事業所」認証に向けた相談体制の充実 仕事と家庭の両立に高いレベルで取り組む企業の顕彰 <p>○若年者のライフプラン形成支援（15,761千円 委託料）</p> <ul style="list-style-type: none"> 新入社員等に対するライフプラン形成支援 企業と連携した出会いの場づくりの提供 <p>[四国中央市]</p> <p>○若年者のライフプラン形成支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 独身男女の出会いの場を提供する団体等への支援（1,500千円 補助金） <p>[西予市]</p> <p>○企業と学生のマッチング及び雇用の受け皿の拡大（500千円 補助金）</p>		
KPI	<p>①仕事と育児の両立・女性活躍に取り組む企業・事業者数（+160社）</p> <p>②県内新規学校（大学等）卒業者の県内企業への就職内定者数（女性）（+65人）</p> <p>③男性の育児休業取得率（+68.7%）</p> <p>④出会いの場を提供する事業への参加者数（+540人）</p>		<p>関連URL</p> <p>（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.ehime.jp/page/50114.html （効果検証） https://www.pref.ehime.jp/page/50114.html</p>

※経費内訳はR7年度事業費

※愛媛県、四国中央市、西予市の広域連携事業

事業概要【「ビジネス」「デザイン」「テクノロジー」を備えた人材の育成による

旧制度（推進）

デジタルトランスフォーメーション加速化事業】

申請者	愛媛県、西予市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	275,509千円（93,487千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<p>・東京藝術大学と連携したデザイン力向上支援、社会人を対象としたデジタル分野のリスキリング環境整備などを通じて「ビジネス」「デザイン」「テクノロジー」を備えた人材の育成を図る。</p> <p>・育成した人材により県内企業のDXを進め、次代を担う活力ある産業を創り、1人当たりの県民所得の引き上げを目指す。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>【事業概要】 「あたらしい愛媛の未来を切り拓くDX実行プラン」を具体化する各種取組を通じて、デジタル人材（「ビジネス」「デザイン」「テクノロジー」を備えた人材）の育成を行うとともに、育成した人材による県内企業のDXを進め、時代を担う活力ある産業を創り、1人当たりの県民所得を引き上げる。</p> <p>【主な経費】 ○東京藝術大学と連携したデザイン力向上支援（73,487千円 委託料、謝金、事務経費等） ・「アーティスト・イン・レジデンス」による人材育成 ・映像制作人材の育成 ・言葉と写真の力によるエモーショナルな表現及び手法の向上支援 ・発掘・育成したアートコミュニケータの取組とも連動し、一定期間滞在するアーティストや東京藝術大学、地域住民、文化施設、学校、民間企業と連携した、子どものデザイン力向上を目的とした参加型の芸術プログラムの開催 ○社会人を対象としたデジタル分野のリスキリング環境整備による「ビジネス」の視点を持った人材の育成（20,000千円 委託料） ・デジタルを活用した業務変革及び社内リスキリングの必要性について理解を促進するセミナーの開催 ・IT技術及び人材育成に係る専門知識を有する人材を企業に派遣することにより、社内人材の育成及びリスキリング方針・研修実施プログラムの構築を支援</p>		<p>愛媛でじたる女子プロジェクト</p> 
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①本事業を通じた「ビジネス」「デザイン」「テクノロジー」に精通した人材の育成数（+1,550人） ②育成した人材によるビジネスに関するプロジェクト数及びデザインに関するコンテンツ数（+80件） ③県関与年間成約額（+97.9億円）</p>		<p>関連URL</p> <p>（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.ehime.jp/page/50114.html （効果検証） https://www.pref.ehime.jp/page/50114.htm</p>

事業概要【スタートアップ・エコシステムの確立による稼げるスタートアップ創出プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	愛媛県、大洲市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	269,097千円（100,262千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・高付加価値や新たな雇用の創出に直結し、県全体の経済に波及効果を及ぼす、スタートアップの創出を図る。 ・メンター機能を提供するアクセラレーターの支援により、全国事業展開を後押することで、事業規模の拡大、雇用の創出を図る。 ・首都圏等の研究開発型スタートアップ企業と関係性を構築し、県内への事業活動拠点の誘致を図る。 ・スタートアップコミュニティの構築や起業家精神をもった若年人材の育成により、スタートアップ・エコシステムの形成を図る。 		
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 地方でのスタートアップ創出・支援の成功実績を持つ外部専門家の意見とノウハウを取り入れた事業を実施するとともに、自治体、大学、金融機関、事業会社等の関係者との強固な連携体制によるオール愛媛での支援体制を構築する。</p> <p>【主な経費】 [愛媛県] ○稼げるスタートアップ事業の創出と創業者のステージに応じた支援(38,200千円 委託料) ・県内での創業予定者を対象としたビジネスアイデアの募集、選定、プレゼンの場の設定 ・地域課題を解決するビジネスアイデア創出のためのワークショップの開催 ・愛媛発のスタートアップの創出・育成に向けた専門支援機関による伴走支援 ○研究開発型スタートアップ企業の誘致に向けた関係性の構築(16,046千円 委託料等) ・県内企業と県外スタートアップとのマッチング、新事業創出に向けた伴走支援及び事業拠点整備 ○スタートアップ・エコシステムの構築(21,013千円 委託料 等) ・スタートアップ・エコシステムの素地となる創業者コミュニティの創出及び愛媛版スタートアップ創出プログラムの確立 ○若年層の地域課題解決の意識や起業家精神を醸成するための体験的な活動(18,125千円 事務経費、講師謝金・旅費 等) ・県内高校生を対象とした、地域課題の解決を図る体験活動の実施と成果報告会の実施</p> <p>[大洲市] ○高校生の起業マインドの醸成(6,878千円 委託料) ・身近に抱える課題の抽出、事業化の手法、事業の運営方法等、起業に関する知識を学ぶ育成プログラムの実施、地元事業者との交流・連携、及び開業に必要な知見の習得に係る学習の実践</p>		<p>愛媛県創業支援施策「EGFプログラム」</p>  <p>ここから始める、 ここから生まれる、 新しいEHIME。</p> <p><small>愛媛県では、新たなビジネスを生み出すスタートアップの創出や県内での創業をオール愛媛でサポートする「愛媛グローバル・フロンティア・プログラム」(EGFプログラム)を推進しています。</small></p>
KPI	<ol style="list-style-type: none"> ①地域における新規雇用者数 (+1,400人) ②全国平均の開業率を100とした場合の本県の開業率の割合 (+20%) ③本県に拠点を置く企業のJ-Startup (J-StartupWestを含む) 登録件数 (+14件) ④創業支援プログラム参加者による県内創業件数 (+220件) 		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.ehime.jp/page/50114.html (効果検証) https://www.pref.ehime.jp/page/50114.html</p>
※経費内訳はR7年度事業費	<p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>		

事業概要【デジタルを活用した愛媛県出身若年者との繋がり構築やコミュニティ創出による 愛媛ファン獲得プロジェクト『ふるさと4.0』】

旧制度（推進）

申請者	愛媛県ほか7自治体※	初回採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	61,079千円（18,815千円）	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野	
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・県内出身者へのアプローチ手法の構築、およびイベントに応じた情報発信の実施を通じ、市町出身者との継続的な関係性を構築。また、出身者との関係性を構築した市町出身者を介して、友人知人へ情報がシェアされる好循環を生み出す ・地方体験をしたい若年層と労働力を求める地元事業者を引き合わせ、就労（農林水産業、宿泊業、イベント等）と市町移住の双方について、一定期間にわたり体験できるコンテンツ提供を通じた若年層の来訪機会の増加 ・空き家を活用した移住希望者・来訪者（旅行者）の住居・滞在先の不足解消 ・上記を通じた『関係人口＝愛媛ファン』獲得と転出超過解消 			
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 若年層の転出者との関係性の構築や、就業・移住体験を組み合わせた旅行コンテンツの提供等により、関係人口創出、転出超過の解消につなげる。</p> <p>【主な経費】 ○市町出身者向け専用のアプリケーションによる、転出者との関係性構築、愛媛ファンの創出（7,920千円 サービス利用料 等） ・プラットフォームの母集団形成・利用継続のための取組み及び魅力あるコンテンツの発信 ○ワーキングツーリズムプラットフォームを活用した地方体験をしたい層へのアプローチ、空き家を活用した移住希望者の住居・旅行者の滞在先の確保（8,695千円 委託料） ・ワーキングツーリズムプラットフォームを活用した若手層の地方体験促進事業 ・空き家を活用した移住希望者の住居、旅行者の滞在先の確保 ○プロジェクト管理（2,200千円 委託料） ・サービスと各市町とのコミュニケーション支援、ステークホルダーとの調整</p>			
KPI	<p>①地域へのUIターン数（+168人） ②事業を通じた10代～30代の関係人口創出人数（+3,076人） ③情報発信プラットフォーム事業を通じた10代～30代向けの情報発信のCV率（+45%）</p>		関連URL	<p>(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.ehime.jp/page/50114.html (効果検証) https://www.pref.ehime.jp/page/50114.html</p>

※愛媛県、鬼北町、松野町、愛南町、久万高原町、今治市、八幡浜市、東温市の広域連携事業

事業概要【外国人材から選ばれる愛媛づくりプロジェクト】

申請者	愛媛県、松山市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	381,845千円 (122,213千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 外国人の受入体制の整備、充実や地域との共生推進に取り組むことで、「外国人から選ばれる愛媛」を実現し人手不足を解消するとともに、企業の中核となる高度人材の採用支援等により、更なる経済成長につなげる。 松山空港の体制整備を図ることで、国際線の増便、海外との交流を促進し、更なる外国人を呼び込む相乗効果を生み出す。 					
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 慢性的な人手不足を補い、地域経済の活性化を図るため、外国人から選ばれる地域づくり、企業の受入環境の改善等に取り組む。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「外国人材から選ばれる愛媛」のための支援体制の構築 ・外国人材受入れ・定着に係る企業向け相談窓口の設置13,975千円（委託料） ○外国人材の受入環境向上・県内定着 ・受入環境の整備・改善に取り組む企業等に対する補助金13,200千円（補助金） ・外国人材の帯同家族を含めた日本語支援20,676千円（委託料、補助金等） ○えひめとアジアの架け橋となる高度人材確保 ・直行便の就航地とのビジネス拡大に向けた高度人材の確保6,881千円（委託料、通訳代等） ・新たなMOU締結国であり、豊富な若年人口を抱えるインドネシア・インドにおける企業と高度人材のマッチング支援47,420千円（委託料、通訳代等） ○留学生受入れ・定着支援事業 ・大学、専門学校と連携し、県内企業の就職を前提とした留学生の受入拡大と県内企業とのマッチング、定着支援等を実施4,659千円（委託料、出展料等） ○松山空港地上支援業務外国人材活用推進事業 ・ランプスタッフ向け専門教育カリキュラム策定支援（負担金1,700千円） 				<p>目指すべき3つのビジョン</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>就労環境の充実による「働く場として魅力ある愛媛県」の実現</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>外国人材も一人の県民として安心・安全に生活できる共生社会づくり</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>東予・中予・南予それぞれの地域特性や産業特性に応じた人材受入れの推進</p> </div> <p style="text-align: center; background-color: #FFDAB9; padding: 10px;">外国人材から信頼され 選ばれ続ける愛媛県の実現</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>県内市町・企業と連携した受入環境の整備、大学・専門学校と連携した留学生の県内就職に取り組む。</p> <p>商工・労働団体等と連携し、外国人労働者からの意見をまとめ、事業内容への反映に取り組む。</p>				KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①県内企業で雇用されている外国人労働者数 (+8,200人) ②雇用者報酬及び企業所得の県内総額 (+595,485百万円) ③特定技能2号で県内に在留する外国人材の数 (+309人) ④在留資格「技術・人文知識・国際業務」を有する県内外国人数 (+649人)

事業概要【レガシーを活用した関係人口創出プロジェクト】

申請者	愛媛県、松山市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	231,291千円 (119,169千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野
目的・効果	スポーツ習慣の定着、文化等を通じた生きがいの発見等により地域への愛着を強めることで、定住を促進するとともに、スポーツ大会の開催や四国遍路の魅力発信の取組を通じて、愛媛ファンを獲得し、関係人口を増加させ、地域を活性化させる。					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 大規模スポーツイベントのノウハウ、文化財、四国遍路といったレガシーを活用し、地元定着を図るとともに、関係人口の創出に取り組む。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <p>○レガシーを活用したスポーツの継承</p> <ul style="list-style-type: none"> ■スポーツ大会を通じた交流人口拡大に伴う愛媛ファンの獲得・拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・日本スポーツマスターズ2025愛媛大会の開催事業58,403千円 (負担金) ■「する」「みる」「応援する」「支援する」といった多様なスポーツ習慣の定着 <ul style="list-style-type: none"> ・参加交流促進イベント、機運醸成イベント開催事業12,902千円 (負担金) ■競技団体等におけるスポーツイベント開催機運の醸成、開催基盤の形成 <ul style="list-style-type: none"> ・ノウハウ蓄積を目的とした競技団体等への補助16,200千円 (負担金) <p>○文化財の保存・活用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ■文化財等を残す (散逸・消滅対策) <ul style="list-style-type: none"> ・文化財の3次元測量調査・3Dデータ化12,274千円 (委託料、事務経費) ・祭り継承研修会の開催794千円 (講師謝金旅費、事務経費 等) ■文化財等を伝える (普及啓発) <ul style="list-style-type: none"> ・新設するホームページや博物館での3D測量データの公開6,238千円(委託料 等) <p>○博物館との連携による四国遍路の魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ■歴博と札所との周遊促進 <ul style="list-style-type: none"> ・PR動画の作成550千円 (委託料) ・デジタルマーケティング1,760千円 (委託料) ■魅力発信 <ul style="list-style-type: none"> ・展示解説の多言語化770千円 (委託料) 				<p>大下田古墳 (1号古墳)</p> 	<p>大下田古墳 (1号古墳石室内)</p> 
地域の多様な 主体の参画	<p>スポーツ関係団体、市町、地域おこし協力隊等と連携した事業の推進、地域の魅力発信に取り組む。</p> <p>県と市の自己評価・効果検証を基に、関係団体、大学等 (有識者・民間シンクタンク) による改善提案を事業内容に反映させる。</p>				<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①地域へのUIターン数 (県への移住者数) (+2,176人)</p> <p>②県外への転出者数 (日本人) (-2,005人)</p> <p>③スポーツ大会、イベント等による参加者数 (+6,175人)</p> <p>④地域の伝統的な芸能や祭りへの参加率 (+1.5%)</p> <p>⑤歴博 (内海清美展) の観覧者数 (+17,400人)</p>

事業概要【愛媛の未来を創造するアート×コレクティブインパクト創出事業】

申請者	愛媛県ほか 2 自治体※				初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	407,378千円 (145,878千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野 まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 東京藝大との連携や、東京藝大を中核に産官学42機関が参画する「ART共創拠点」への参画により、アートによる新たなアプローチで地域コミュニティの活性化を図り、地域のアイデンティティを高め、本県の魅力発信やシビックプライドの醸成に繋げることで、県民の県外流出を抑制する。 地域アートの導入やアートコミュニティの形成に関する知識やノウハウをもった専門人材を育成やアートフェスティバルの実施により、アートコミュニティの形成を加速させ、更なる交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る。 					
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 県民参加型のアートフェスティバルを開催し、公募アーティストの創作活動を通して、アーティストと地域住民のコミュニティを形成するとともに、その運営に不可欠なボランティアの育成などに取り組む。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アートフェスティバルの開催を通じたアートコミュニティの形成 (愛媛県) 80,168千円 <ul style="list-style-type: none"> ・アーティストの選定、作品制作、アートフェスティバルの開催 (今治市) 10,000千円 ・アーティストによる作品制作、展示 (砥部町) 7,000千円 ・アーティストによる作品制作、提示 ○文化芸術を支えるボランティアネットワークの構築 (愛媛県) 7,386千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア人材の育成及び継続的ネットワークの構築 ○文化資源を観光誘客プロモーションの実施 (愛媛県) 41,324千円 <ul style="list-style-type: none"> ・様々な広報媒体を活用したクロスメディアプロモーション 				<p>【東京藝大との包括連携協定】</p>  <p>【ART共創拠点への参画】</p> 	
地域の多様な 主体の参画	<p>県、市町、大学が協働し、住民を巻き込んだアートフェスティバルを開催し、多様な主体と連携し、アートを活用したまちづくりを促進する。</p> <p>ART共創拠点による評価を行うとともに、魅力的な地域づくりのために住民の声を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。</p>				KPI	<ul style="list-style-type: none"> ① 県外への転出者数 (-2,005人) ② アートコミュニティの数 (+50人) ③ 文化芸術イベントへの参加者数 (+131,800人) ④ 専門人材の育成数 (+60人)

※愛媛県、今治市、砥部町の広域連携事業

事業概要【都会へのあこがれ対策プロジェクト】

申請者	愛媛県				初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	405,294千円 (139,102千円)	
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就労体験等による県内就職の促進やデジタル人材の育成・定着の促進に取り組み、県内就職率の低下を防ぐ。 ・ 移住の促進や地域産業への定着の促進を図ることで、愛媛県南予地域の急激な人口減少を抑制する。 ・ 県内在住者の若者や県外転出者等へのアプローチを図りUIターン者を増加や、県外転出者数の減少を実現する。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 就労・実務体験や情報発信等を通し、若者に地域の魅力を伝えることで、移住潜在層の掘り起こし、転出抑制を図る。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○キャリアチャレンジ for College18,914千円 (委託料、事務経費) ・愛媛版ワーキングホリデー・サークル・ゼミ合宿の誘致・県内企業の課題解決アイデア創発イベント ○デジタル人材定着支援 ・クラウドソーシングによる実務経験を通じた実践的なスキル習得、地元定着のためのキャリア支援19,000千円 (委託料) ・デジタル技術を活用しながら企業や地域の課題を解決する活動、企業との継続的な交流による県内定着促進22,000千円(委託料) ○南予移住認知度拡大プロモーション24,000千円 (委託料) ・南予9市町での移住体験動画作成・配信・地域住民、移住者との現地交流会の開催 ○えひめ水産業次世代人材育成 ・学校及び水産業界をコーディネートする有識者の配置3,918千円 (コーディネーター人件費・旅費、事務経費 等) ○若者特化型人口減少対策意識啓発 ・CRMと連動したメルマガの創設7,776千円 (委託料) ・交流会等の開催17,338千円 (委託料、講師謝金旅費) ○関西圏で働く若手社会人のUターン促進 ・SNSを活用した若者特化型プラットフォーム構築7,931千円(委託料) 				<p>【県外での就職希望理由】</p> <p>(県内大学生)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都会での生活にあこがれを感じる:43.1%(1位) ・ 愛媛の企業のことをあまり知らない:12.2%(6位) <p>(県外大学生:本県出身)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都会での生活にあこがれを感じる:15.8%(6位) ・ 愛媛の企業のことをあまり知らない:26.3%(4位) <p>あこがれ度推移 (イメージ)</p> <p>✓ 大学4年間で「都会へのあこがれ」は、相当程度低下 (30ポイント) ✓ 県内企業の認知度向上は、県外・県内の双方の大学生に必要</p>		
地域の多様な 主体の参画	<p>各業界の有識者の意見を取り入れながら事業を設計し、大学・高校等と連携した就職支援を行うことで、若者の県内定着を推進するとともに、県内市町と協働してUターンを促進させる。</p> <p>県による効果検証を基に、学生の意見、コンソーシアムや推進会議における改善提案等を事業に反映させる。</p>				KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①若者の県外転出数 (-607人) ②地域へのUIターン数(県への移住者数)(+2,176人) ③南予地域への移住割合 (+4.8%) ④県内大学生・高校生等の県内就職率 (+10.02%) ⑤メルマガ登録数 (+3,640人) 	

※経費内訳はR7年度事業費

事業概要【脱炭素型ビジネススタイルの実現と環境負荷の少ない地域づくりによるカーボンニュートラル推進プロジェクト】

申請者	愛媛県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	162,788千円 (60,832千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	脱炭素経営ビジネスモデルの導入による企業メリットの獲得、3Rの推進又は設備機器の補助による設備投資等による収益性向上と人材確保の実現により、地域における新規雇用者数の増加等につなげる。						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 企業の脱炭素化に係る意識改革、3R推進スキームの構築等を通してカーボンニュートラルを推進することで、地域経済を活性化させる。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ゼロカーボン・フロントランナー企業育成支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ■フロントランナー中小企業の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・経営層への直接訪問・研修、中核社員への集中プログラム（伴走型支援）等の実施12,354千円（委託料、事務経費） ■企業支援側のスキルアップ支援 <ul style="list-style-type: none"> ・企業の脱炭素化支援を先導するリーダー育成研修の実施、研修会の開催等2,650千円（委託料、事務経費） ■脱炭素型認定制度構築 <ul style="list-style-type: none"> ・認定のための推進アドバイザーの設置5,474千円（委託料） ○事業者連携3R推進スキーム構築事業 <ul style="list-style-type: none"> ■太陽光パネル3R推進スキーム構築事業 <ul style="list-style-type: none"> ・県内太陽光パネル排出状況等の実態調査を行い、排出量の予測、パネル設置者に対する3R誘導課題・手法の検討等25,300千円（委託料） ○適正な家畜ふん尿処理及び堆肥の利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ■近隣環境に配慮した堆肥処理等の畜産環境設備機器の取得等に対する補助 <ul style="list-style-type: none"> ・畜産農家等に対する補助金：8,000千円（補助金） 						
地域の多様な 主体の参画	<p>商工会議所、商工会等と連携し、企業の脱炭素化等を支援するとともに、市町、育成機関、金融機関などの先導する機関を育成することで、脱炭素化等を加速化させる。</p> <p>県の自己評価、効果検証を踏まえ、大学をはじめとした有識者の意見や、企業の意見を吸い上げて、事業内容への反映に取り組む。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における新規雇用者数（月末被保険者数の前年度からの増減数）（+11,048人） ②雇用者報酬及び企業所得の県内総額（+595,485百万円） ③産業部門のCO2削減率（+3.21%） ④支援を受けた畜産農家の収益伸び率（+3%） ⑤脱炭素型企業数（+300社） ⑥企業の脱炭素化を先導するリーダーの数(支援機関等)（+60人）

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【デジタル技術の横展開・官民共創・集積による実装加速化プロジェクト】

申請者	愛媛県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	2,864,000千円 (958,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術の活用により付加価値率の向上と生産量の拡大につなげ、その結果として就業条件が改善されることにより人材確保が進み、その結果として更なる付加価値率向上と生産性拡大という好循環を創出する 進展するデジタル社会に対応するために、データを取得し、活用できる環境整備・人材育成を行う 県内のリソースのみで全ての環境整備等を図るのではなく、県外デジタル企業の誘致にも取り組む 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>最先端のデジタル技術やロボット等を現場に実装し、本県産業の稼ぐ力の更なる強化をはじめとする様々な地域課題に対し、DX化を通じた解決にチャレンジすることで「ソーシャル・イノベーション」を新たに展開する。</p> <p>○1. デジタル実装成果横展開プロジェクト 一定の成果が出ている先進デジタル技術の県内への横展開を図る。加えて、新規のデジタル実装プロジェクトの組成を進め、愛媛県内での実装検証を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 横展開及び実装検証委託料：685,000千円 横展開に係る補助金：30,000千円 <p>○2. 共創・集積促進プロジェクト 採択事業者（デジタル企業）、県内実装先事業者及びその他の県内外のデジタル企業を中心とした産官学金言のネットワークを構築し、共創・集積を促進する各事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワークキング開催など委託料：135,000千円 					<p>・愛媛県内産業の「稼ぐ力」の向上 ・デジタル人材育成</p> 	
地域の多様な 主体の参画	<p>採択事業者、県デジタル総合戦略本部、大学等が連携し、デジタル技術の横展開等のプロジェクトを推進する。</p> <p>採択事業者等による報告・意見、大学の専門的な意見、県デジタル総合戦略本部における全県的な意見を踏まえ、事業内容への反映に取り組む。</p>					KPI	<p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 地域における雇用者の報酬及び企業所得の県内総額（+595,485百万円） ② 事業を通じた新規雇用者数（+45人） ③ 県外デジタル企業拠点設置数（+30社） ④ デジタル人材育成数（+4,950人）

事業概要【新モビリティサービス導入による地域公共交通の再構築・地域のにぎわい創出事業】

申請者	愛媛県				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	65,940千円 (25,940千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野 まちづくり分野
目的・効果	交通DXや空飛ぶクルマといった新モビリティサービス導入に向けた県内市町の取組み支援や南予地域における空飛ぶクルマの実機を使用した実証飛行の実施により、新モビリティサービスの導入を促進することで、「サービスや運営の高度化」、「公共交通を使いたくなる環境整備」を図り、それにより、県内の地域公共交通の再構築や利用促進、ひいては地域のにぎわい創出につなげていく。					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 市町の新モビリティサービス導入に向けた取組に対する補助を行うほか、空飛ぶクルマの実証実験を行い、県民の社会受容性・事業者の参入意欲の醸成に取り組む。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市町が実施する新モビリティサービス導入に関する事業及び市町が事業者に対して実施する新モビリティサービスに関する補助事業に対する補助10,000千円（補助金） ○市町が導入する新モビリティサービスに付随して生じる事業設備・備品経費等に対する補助10,000千円（補助金） ○空飛ぶクルマ実証飛行実施5,940千円（委託料） 				 	
地域の多様な 主体の参画	<p>地域公共交通を担う交通事業者や市町と連携した新モビリティサービスの導入、運航事業者・観光産業等と連携した空飛ぶクルマの実証飛行を行い、地域公共交通の再構築、利用促進、にぎわい創出を図る。</p> <p>地域公共交通網再編協議会等を通じて地域の声の吸い上げや先進事例の横展開を行うとともに、日本政策投資銀行や大学等有識者の意見を踏まえ、事業内容への反映に取り組む。</p>				KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①県内の主な公共交通機関の年間輸送人員(+7,941人) ②新たなモビリティサービス等の実装件数(+3件) ③県内で空飛ぶクルマの事業化を検討する市町(+2市町) ④キャッシュレス決済を導入している鉄道・バス事業者数(+2社) ⑤GTFSを公開しているバス事業者又は市町数(+12者)

事業概要【観光DXを基盤とした交流人口拡大プロジェクト】

申請者	愛媛県				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,201,616千円 (230,530千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 観光分野
目的・効果	観光DMPを活用した施策立案を基盤として、効率的かつ効果的なデジタルの活用と世界的な催しを契機としたリアルでの両輪で誘客促進に取り組むことで、「旅先として選ばれる愛媛」を実現し、認知度向上に繋げる。併せて、大型イベントを契機とした高付加価値旅行者へのコンテンツの作成や超富裕層へのコネクション形成、情報発信サイトの構築による広域周遊ルートへの誘因など重層的に展開し、消費額の増加に繋げる。					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 データ分析を基盤とした地域観光資源の磨き上げや、観光地の高付加価値化に取り組む体制を構築するとともに、デジタル広告や国際会議を活用し、県の認知度向上と更なる誘客促進に取り組む。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○認知度向上と本県への更なる誘客促進 <ul style="list-style-type: none"> ■「旅先として選ばれる愛媛」のためのデータ分析を基盤とした体制構築 <ul style="list-style-type: none"> ・旅行者データを用いた基盤整備費99,957千円(委託料) ■データ分析とデジタル広告を活用した誘客促進 <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルマーケティング活用による愛媛県特集ページ等への誘導36,000千円(負担金) ■国際会議の開催を契機とした認知度向上 <ul style="list-style-type: none"> ・自転車国際会議Velo-city主催者である欧州サイクリスト連盟への分担金57,575千円 ・2025年にポーランドで開催されるVelo-cityへの出展5,000千円(出展料、通訳経費) ○高付加価値化と長期滞在化の促進 <ul style="list-style-type: none"> ■観光コンテンツの高付加価値化の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・欧米豪を中心にした体験コンテンツの作成・誘客9,000千円(負担金) ・ポートショー出展経費10,198千円(負担金) ・E-マウンテンバイクを活用した新しい体験コンテンツの作成・誘客12,800千円(ガイド育成経費,E-bike購入助成等) 				<p>「サイクリストの聖地」しまなみ海道</p> 	
地域の多様な 主体の参画	<p>県・市町、県内観光事業者等と連携し、観光コンテンツの創出を図るとともに、県内外メディアにより本県観光コンテンツの更なる認知度向上に取り組む。 観光DMPによる検証結果をもとに、県内観光事業者等と改善策を検討し、ブラッシュアップを図るとともに、より効果的なプロモーションを展開する。</p>				KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①本県における観光客消費額(+296億円) ②観光DMPの蓄積データを活用して観光施策を立案・改善した件数(+51件) ③県管理港湾のスーパーヨット寄港回数(+16回) ④本事業による延べ宿泊客数(日本人・訪日外国人の合計)(+807人) ⑤E-マウンテンバイク等を活用したツアー受入環境整備数(+6箇所)

※カッコ内の
数値は最終
事業年度ま
での「KPI増
加分の累計」
の目標値

事業概要【第2のふるさと、新しい人の流れ創出事業】

旧制度（推進）

申請者	愛媛県松山市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	407,246千円（72,886千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・サステナブルツーリズムの誘客を通じて、滞在時間の延長による観光消費額の拡大を図る ・また、ツーリズムに訪れた若者たちに対して、関係性の維持・深化につながる取組を一体的に実施することで、松山市を第2のふるさととして、多様な形で関わる新しい人の流れを生み出す ・ソフト・ハード事業を一体的に取り組むことで、サステナブルツーリズムをビジネスとして実施できる体制を整備する 		
事業概要・ 主な経費	<p>○太陽エネルギーで動くグリーンスローモビリティ及びE-Bikeの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンスローモビリティの運営（委託料）495千円 ・グリーンスローモビリティの維持管理（修繕料、保険料等）887千円 ・ソーラー充電スタンド交換用ケーブル（消耗品費）4千円 <p>○観光産業の高付加価値化と自立性を実現するプラットフォームの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラットフォームの運営（負担金）6,000千円 ・情報発信等（委託料）2,000千円 <p>○サステナブルツーリズムを実施・発展できる体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域周遊型SDGs体験旅行プログラムの作成（負担金）2,500千円 ・旅行商品化の推進（負担金）14,000千円 ・SDGs 修学旅行の誘致（負担金、消耗品費等）8,000千円 ・情報発信等（委託料）34,000千円 ・多言語対応などの受入環境の整備（負担金）5,000千円 		<p>中島</p> <p>島外</p> <p>グリーン電力証書活用</p> <p>回遊促進</p> <p>島の魅力発信</p> <p>にぎわい創出</p>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①サステナブルツーリズムの利用者数(+15,000人) ②サステナブルツーリズムの利用者のうち、地方への移住又は通学に興味を持った割合(+39.0%) ③ほしふるテラス姫ヶ浜の利用者数(+700人) ④グリーンスローモビリティの走行距離（+7,350km） 		<p>関連URL</p> <p>【松山市HP】 https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/chihososei/kouhukin-katsuyou.html </p>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【若者視点に立った新たなまちの魅力創造事業】

旧制度（推進）

申請者	愛媛県松山市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	266,918千円 (81,106千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・将来のまちづくりの担い手となる若年層をターゲットに大都市圏からの移住促進 ・本市在住の若年層への定住促進 ・“ふるさと松山”に愛着と誇りを持つことで、「松山に住み続けたい」「進学や就職で松山を離れたとしても、いつかは松山で暮らしたい」「何らかの形で貢献したい」と思う若年層に満ちた都市を目指す 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○若年層の求めるものの分析 <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルリスニング（使用料）：1,980千円 ○若年層に魅力のあるコンテンツ <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルコミュニティの運営（委託料）：660千円 ・地元企業との商品開発、イベント開催等（委託料）：15,070千円 ・賑わい創出イベント（委託料）：20,000千円 ○住みたいと思えるまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・移住促進事業（委託料等）：10,884千円 ・松山市防災教育推進協議会負担金：11,000千円 ○クロスメディアによる松山情報のタッチポイント増加 <ul style="list-style-type: none"> ・メディアプロモーション、情報発信等（委託料）：21,512千円 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域へのUIターン数（+600人） ②若者文化賑わい創出事業の市民参画者数（+40人） ③本市に関するポジティブツイート件数（+60,000件） ④発信した情報への接触人数（+81,100人） 		関連URL 【松山市HP】 https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/chihososei/kouhukin-katsuyou.html

事業概要【デジタル技術やデータを活用した戦略的な産業振興推進事業】

旧制度（推進）

申請者	愛媛県松山市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	113,484千円 (39,748千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<p>・地域産業や観光関連産業、農林水産分野においてデジタル技術や新技術の活用による効率化や参入ハードルの低下、データマーケティングによるターゲット層の分析、充実した雇用機会や収益の向上、エビデンスに基づいたプロモーション戦略等を付加</p> <p>・地域産業のデジタル化やデータ分析に基づいた効率的な施策の実施により、関係人口の拡大、地域産業の活性化、実需の創出等につなげ、全国から選ばれるまちとなる</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>○デジタルマーケティングの手法を活用した地域産業及び観光振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ECサイト等を活用した販売促進、観光振興（委託料）： 27,320千円 ・ファンサイト構築、関係人口との関係深化促進：7,500千円 ・デジタル人材育成セミナー（委託料）：2,700千円 ・デジタルマーケティング、データ分析（使用料）：924千円 <p>○先端機器を活用したスマート農業の促進等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業の研修、体験会（備品、消耗品費）：400千円 ・大学との共同研究（委託費）：904千円 		<p>(事業イメージ)</p>
KPI	<p>①地域における新規雇用者数 (+60人)</p> <p>②参加事業者EC売上額及びOTA経由宿泊予約額 (+30.63億円)</p> <p>③物産購買と観光のクロス利用者数 (+3,815人)</p> <p>④スマート農業に取り組んだ新規就農者の割合 (+50%)</p>		<p>関連URL</p> <p>【松山市HP】 https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/chihososei/kouhukin-katsuyou.html </p>

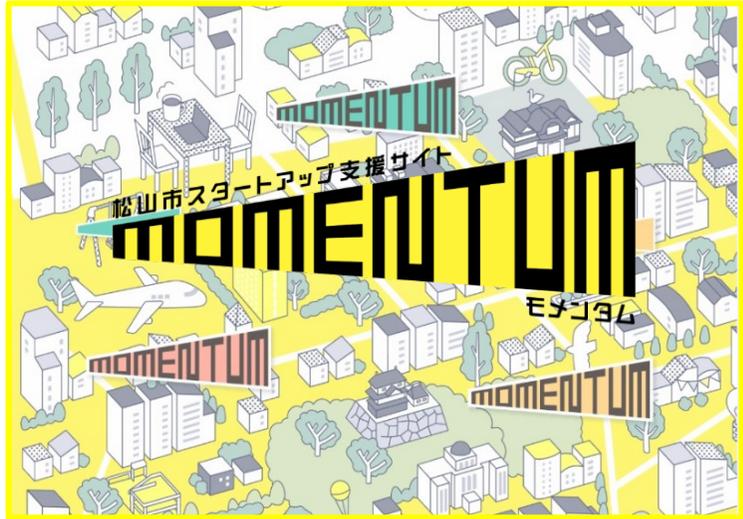
※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【日本の近代文学の源泉地「文学のまち松山」文化体験交流拠点施設整備事業】

申請者	愛媛県松山市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	195,000千円 (153,024千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整備 事業	✓	インフ 整備事業	事業分野 まちづくり分野
目的・効果	夏目漱石と正岡子規が同居した「愚陀佛庵」を核とした、本市が受け継いで来た歴史や文化を学び、体験できる交流施設を市内中心部に整備することで、松山という地域への理解を深め、愛着や誇りを感じられるまちづくりの更なる推進に繋げていく。					
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 「愚陀佛庵」という史実を核とした、体験滞在型施設を市内中心部に整備し、建物や中庭での「体験」や近隣の資源と有機的に結びついた「学び」、文化団体や愛好者の利活用による「交流・発信」の3つの柱を軸に松山の文学史の拠点として様々な活用策を展開していく。</p> <p>【拠点整備事業経費】 体験交流施設を構成する、展示や交流スペースのある「展示棟」と当時を再現した「愚陀佛庵」の2棟の建築を行う。</p> <p>○建築物本体工事 115,144千円 (愚陀佛庵、管理・展示棟建築工事) ○建築物と不可分な設備工事 34,845千円 (電気設備工事、給排水・空調工事) ○解体工事 3,035千円 (敷地内の附帯施設等の解体費用)</p>				 	
※経費内訳はR7年度事業費						
地域の多様な 主体の参画	<p>・市内文化団体と連携して、施設の利用や展示内容構築、利用の呼びかけや情報発信を行う。また、教育機関と連携し、校外学習で利用するなど学習の場としての利用を検討する。</p> <p>・総合戦略のKPIや交付金事業の進捗状況、KPIの達成状況などについて、市内の産業、教育、金融等の各業態が参加する産学官連携組織において多様な視点からの意見聴取を行い、その結果を庁内へフィードバックすることにより、民間の意見も踏まえた事業のPDCAサイクルを運用していく。</p>				KPI	<p>①社会移動数（転入-転出）（+612人）</p> <p>②俳句ポストへの松山市内在住の投句者数（+254人）</p> <p>③『坂の上の雲』のまちづくりの市民認知度（+12%）</p> <p>④愚陀佛庵施設利用人数（+30,000人）</p>
					※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【スタートアップ・イノベーション促進事業】

申請者	愛媛県松山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	80,160千円 (26,720千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	地域における良質な雇用の拡大や本市の認知度向上を図るため、本市の雇用を支える成長意欲のある企業や人への投資の促進、スタートアップエコシステムの構築により、多様な人材が安心して働ける環境を整備することで、本市で活躍する人材母集団を拡大しイノベーション促進に繋げる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>○外部連携による新規事業等イノベーション促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規事業のノウハウやスキル等既存リソースの不足に悩む市内企業と外部人材等とのマッチング及び新規事業創出の伴走支援 (委託料) : 16,000千円 <p>○スタートアップエコシステムの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学発ベンチャー等スタートアップ創出のため、革新的な技術やアイデアを持つ市内企業や学生等を対象に、専門のメンターによるビジネスプランの壁打ち等の伴走支援を行う。 (委託料) : 2,500千円 <p>○ECモール進出応援プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ECモール進出に係る経費支援 (補助金) : 8,000千円 ・販売ノウハウ構築セミナー (謝礼) : 220千円 						
地域の多様な 主体の参画	総合戦略のKPIや交付金事業の進捗状況、KPIの達成状況などについて、市内の産業、教育、金融等の各業態が参加する産学官連携組織において多様な視点からの意見聴取を行い、その結果を庁内へフィードバックすることにより、民間の意見も踏まえた事業のPDCAサイクルを運用していく。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域における新規雇用者数(+9人)</p> <p>②イノベーション促進策による新規事業創出件数 (+15件)</p> <p>③EC事業に参入する市内事業者のECモールでの売上額 (+4.8億円)</p>

事業概要【地域資源を活用した持続可能な観光未来都市推進事業】

申請者	愛媛県松山市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	302,900千円 (108,700千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	道後温泉本館の保存修理工事の完了、松山市駅前広場の整備、新たな都市ブランドスローガンの公表など本市にとって大きなトピックが重なるタイミングを逃さず、複数の要素を絡めながら一体的な施策を推進し、人口減少局面においても本市の魅力向上や、関係人口の創出、観光誘客の促進など地域の活性化に繋げていく。						
事業概要・ 主な経費	<p>○道後温泉地区へのアート作品の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品制作（負担金）：40,000千円 ・参加型アートイベント開催（委託料）：5,300千円 <p>○官民連携によるエリアマネジメント推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリアマネジメント組織構築支援事業（負担金・補助金）：20,000千円 ・エリアマネジメント組織構築に係る人材育成事業（負担金）：25,000千円 <p>○ブランドメッセージ等の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幸せメッセージ募集事業の開催（負担金）：8,000千円 ・ブランドメッセージ普及啓発PR（委託料）：10,400千円 					 	
※経費内訳はR7年度事業費							
地域の多様な 主体の参画	総合戦略のKPIや交付金事業の進捗状況、KPIの達成状況などについて、市内の産業、教育、金融等の各業態が参加する産学官連携組織において多様な視点からの意見聴取を行い、その結果を庁内へフィードバックすることにより、民間の意見も踏まえた事業のPDCAサイクルを運用していく。					KPI	<p>①観光客推定消費額（+157億円）</p> <p>②外国人観光客数（+10,400人）</p> <p>③道後温泉外湯3館の入浴客数（+140,000人）</p> <p>④エリアマネジメント組織の構築に係るワークショップ開催数（+10回）</p> <p>⑤松山市のブランドメッセージを見たり聞いたりしたことがある人の割合（+80%）</p>
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

申請者	愛媛県今治市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	19,974千円（8,010千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<p>日本遺産「村上海賊」の知名度を活かし、VRやPRキャラクターなどのコンテンツを強化することで、しまなみ海道沿線に点在する文化施設「しまなみアートミュージアム」への関心を高める。</p> <p>さらに、各施設を線で結び回遊性を持たせるため、魅力の再発見や課題の整理、受け入れ環境の整備と内容の充実を図る。</p> <p>これにより、国内外からの誘客を促進し、地域の賑わいや交流人口の拡大、地域経済の活性化を目指す。</p>		
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>○村上海賊PRキャラクター活用事業 村上海賊PRキャラクターのPRイベントや情報発信を実施し、コンテンツ価値の最大化を図るとともに、多角的なグッズ展開を推進する。</p> <p>・キャラクターグッズ化企画制作業務委託（委託料：2,024千円）</p> <p>○インフルエンサー等を活用した映像制作・情報発信事業これまでに提言された魅力や課題点を踏まえ、最終的なツアーメニューを造成。今治市出身で国内外で活躍するアーティスト・クリエイターなどのインフルエンサーを招聘し、映像制作またはFAMツアーを実施。国内外に向けて今治の魅力を発信する。</p> <p>・映像制作（またはFAMツアー） & 情報発信業務委託（委託料：5,986千円）</p>		
<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①しまなみアートミュージアム（7館）の来館者数（+8,000人）</p> <p>②デジタルスタンプラリー利用者数（+800人）</p> <p>③村上海賊PRキャラクターを用いた商品開発数（+20種類）</p> <p>④地域の観光入込客数（+66千人）</p>	<p>関連URL</p>	<p>https://www.city.imabari.ehime.jp/simingamannaka/chiikisaisei/17.html</p>

申請者	愛媛県今治市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	273,753千円（86,351千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・市内企業のデジタル化、省力化、省人化による生産性向上を図る。 ・若者が地元で活躍できる環境を提供することで、市内での若者の雇用拡大を図る。 ・市内企業の新たな付加価値や新産業を創出することにより域内の産業競争力強化を図る。 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○AI人材育成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・産学官連携によるAI人材育成講座の開催と相談業務の実施 講座運営及び相談業務委託料 6,000千円 ・DX推進事業への補助 補助金等 20,021千円 ○スタートアップの育成・誘致事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスプランコンテストの開催及び上位入賞者等に対する創業支援事業 コンテスト開催委託料 2,000千円、創業支援補助金 4,000千円 ○オープンイノベーション推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・市内企業やスタートアップ企業の社員が集まるものづくりオープンラボの運営 運営補助金等 16,500千円 ・オープンイノベーション型新産業創出支援事業 補助金等 20,030千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+2,970人） ②AI人材育成人数（+420人） ③スタートアップ創業件数（+5件） ④ものづくりオープンラボ参加企業数（+30社）	関連URL	https://www.city.imabari.ehime.jp/simingamannaka/chiikisaisei/



事業概要【いまばりコネクト～今治市の魅力発信による今治ファン拡大・関係人口創出事業】

申請者	愛媛県今治市				初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	189,117千円 (61,439千円)	
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 今治市の情報を一元的に発信し、認知度を高めて今治ファンの拡大による関係人口の創出を図る。 域外からの地場産品の購入や観光などによる外貨獲得により、地域経済の維持・拡大を図る。 本市ならではの魅力を、内外の多くの人に発信し、興味を持ち続けてもらい本市との関係の長期継続を図る。 若年人口・子育て世代を中心に、移住者・定住者を増加させることにより、持続可能なまちづくりを行う。 						
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>①ポータルサイトの構築及びデジタル×アナログ（リアル）メディアの効果的な活用による認知度・魅力度アップ事業（委託料・負担金）26,300千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ポータルサイトの構築、SNS等を活用した同サイトへの誘引 <ul style="list-style-type: none"> ポータルサイト構築、SNS運用、冊子作成、データ分析・報告 デジタルコミュニティ活用によるデジタル関係人口の活性化 <p>②物産販促及び観光促進サイトを活用したデータの分析による利用者の動向調査事業（委託料）21,074千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 物産振興、観光振興、診断サイト、コンテンツ作成、調査・分析 <p>③大都市圏等での交流拠点創出及びイベントでの認知度・魅力度アップ事業（報償費・需用費・使用料及び賃借料・委託料）14,065千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 魅力発信拠点「いまばりLab.」の開設 おにぎりを切り口としたPRイベントの開催 関西圏での旬の情報発信によるPRイベントの開催 						
地域の多様な主体の参画	<p>地域商社、商工会議所、市内企業と連携し、本事業での情報コンテンツ作成や、大都市圏での情報発信に積極的に参加することで、本市の認知度・魅力度を高める。</p> <p>四国経済産業局に有効な情報発信の取り組み実績や課題の解決策など、専門的な知見より助言をいただきながら事業を進める。</p>				<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域へのUIターン者数（+300人） ②大都市圏での拠点における地元企業の参加数（+25社（者）） ③地域ブランド調査における認知度ランキング（▲32位） ④ふるさと納税寄附額（+20億円） 	

事業概要【脱炭素×多様な人材のエンパワメントで地域課題を解決！地域ぐるみでの脱炭素化ブランディングプロジェクト】

申請者	愛媛県今治市				初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	38,963千円 (12,921千円)	
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・市内外の人材がコミュニティを形成しながら（エンパワメントを活用し）企業や地域の脱炭素化に取り組む。 ・脱炭素経営による中堅・中小企業の生産性向上が人材不足解消など経営課題解決に寄与するのみならず、脱炭素化が地域課題を解決するツールとして市内外に認識され、脱炭素×地方創生が進んだ地域であるという地域ブランドイメージを確立できる。 						
<p>事業概要・主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○脱炭素経営支援プログラム提供 ・各種プログラム企画・運営業務（委託料事業）5,143千円 ・戦略的情報発信業務（委託料、ほか）545千円 <p>○ワンストップ相談センター設置及び先導的脱炭素ソリューション実装事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般家庭余剰電力のデジタルプラットフォームを介しての事業所等への融通システム構築（委託料）5,000千円 ・公共施設一括LED化照明調査システム利用（使用料）621千円 <p>○多様な人材による脱炭素コミュニティ形成・事業構想事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明会・セミナー・アイデア構想ワークショップ等企画運営業務（委託料）1,612千円 						
地域の多様な主体の参画	<p>地元経済団体・包括連携協定先・地元金融機関・市で構築した脱炭素経営支援基盤を活用し、愛媛県とも連携しながら各種プログラムを提供する。また、脱炭素ソリューションを保有する企業と地元企業等をマッチングするなど、脱炭素まちづくりを加速化させる。地元学生や地域FMのプロジェクト参加を通じて情報発信力を強化する。</p>				<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①今治管内新規雇用者数（中高年除く+30人） ②オープンファクトリー参加企業数（+20社） ③脱炭素まちづくり事業実施数（+9件） ④地域の脱炭素リーダー輩出数（+15人） 	

事業概要【宇和島アートプロジェクト事業】

申請者	愛媛県宇和島市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	163,500千円 (120,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	地域の魅力資源をクリエイティブの力によって引き出して新たな価値を創出してきたこれまでの取り組み（＝うわじまシティブランディング）を踏まえ、子育て世代層におけるクリエイティブ人材を含む魅力発信人材の発掘・育成・誘致・ネットワーク化につながる施策を複合的に展開することで、「地域のクリエイティブ文化」の醸成と「まちの賑わい創出」といった「まちの変化」を促し、市民の「地域の将来に対する希望」や「幸福度」などの向上を図り、魅力ある地域づくりにつなげていこうとするもの。						
事業概要・ 主な経費	<p>○内容：宇和島フォトフェスティバルの開催</p> <p>○対象経費内訳</p> <p>①展示事業費（委託料）：91,133千円 ・フォトアーティスト作品の屋外展示、アーティストとの交流プログラムの実施等</p> <p>②広報宣伝費（委託料）：9,389千円 ・団体HP制作、SNS広告、公式記録動画制作等</p> <p>③事務局運営費：12,463千円 ・市民企画プログラムの実施、販促物制作費等</p> <p>【宇和島フォトフェスティバル概要】</p> <p>○時期：令和7年10月25日（土）から11月24日（月・祝）まで</p> <p>○会場：宇和島城、中心商店街ほか</p> <p>○主体：宇和島ARTプロジェクト</p> <p>○その他：会期中に中心商店街において各種団体等によるイベントを同時開催し、賑わい創出の相乗効果を狙う ※交付金対象外</p>					<p>「住みたくなる・帰りたいくなる・連れて行きたくなる」まちへ</p> <p>まちの賑わいや付加価値の創出</p> <p>・シビックプライドの向上 ・共創型関係人口の増加 ・魅力の維持と新しい価値の創出</p> <p>起業・創業などを含む市民・企業活動の活発化（＝まちの変化）</p> <p>市内 市外</p> <p>ネットワーク化</p> <p>育成 誘致</p> <p>発掘</p> <p>クリエイティブ文化の醸成 (アートやデザインに触れる機会の提供など)</p>	
地域の多様な 主体の参画	芸術、まちづくり団体関係者のほかに、商工、観光、交通、金融、マスコミ等と連携し、本プロジェクトの事業効果を高めることに取り組む。 本事業を通じて新たに設立するクリエイティブ人材の市民等で構成される「宇和島クリエイティブコミュニティ」と連携し、地域のクリエイティブ文化醸成につながる意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。					KPI	<p>①本市の人口の社会移動数（▲945人）</p> <p>②宇和島クリエイティブコミュニティが関わった企画・プロジェクト外の件数（+3件）</p> <p>③R7～9のイベント来場者数のうち、クリエイティブ人材（+200人）</p> <p>④宇和島クリエイティブコミュニティへの参加者数（+20人）</p>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【若者の人材育成と循環を目指すホリバタ改修整備事業】

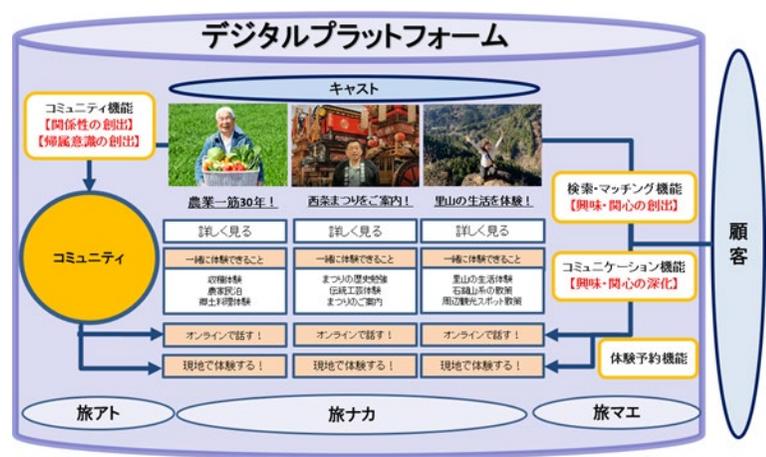
申請者	愛媛県宇和島市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	95,841千円 (95,841千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 中央公民館（ホリバタ）を改修整備し、若者の活動拠点として新たな価値を付加することにより、地方への人材の還流を図る。 新たな場を活用したソフト事業の拡充により、若者と地域との連携を促進し、地域の活性化を目指す。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 関係人口を含めた人材の環流を生む重要なパーツとして、大小様々なイベントができるスペースやプロジェクトルーム、展示スペース、交流と対話が生まれるカウンターやオープンキッチンなどを設え、若者たちの自由な創造性を育み、双方向の協働が生まれる仕掛けを取り入れた改修を行う。市内外で活躍する若者たちの活動拠点としてホリバタを改修整備することにより、若者と地域社会の接点としての機能や、産官学民の連携を強化することができる。</p> <p>【拠点整備事業経費】 ○宇和島市立中央公民館1階フロア（ホリバタ）の改修整備 ・施設整備 87,341千円 ○若者の居場所・活動拠点としての新価値創造 ・備品購入 8,500千円</p>					 <p>ラウンジからイベントスペースを見る</p> <p>イメージは実際と異なる場合があります。</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>商工会議所と共同で若手社会人を対象とした交流型研修を実施し、若者の地元定着と交流促進に取り組む。 中学校・高等学校がホリバタ近隣に位置しており、学校活動における探究の授業や学びの発表の場として、学校との連携を促進する。また、愛媛大学との連携事業を継続して実施しており、学生たちの学びの場・フィールドワークの拠点として利活用が進んでいる。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ① 県外からの転入者数 (+50人) ② 延べ利用者数 (+5,000人) ③ イベント・プロジェクト外参加者 (+1,500人) ④ イベント・プロジェクト外の件数 (+10件) ⑤ Uターン希望者数 (+150人) ⑥ インスタグラムのフォロワー数 (+1,800人)
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【松村正恒モダニズム建築記念館（仮称）整備事業】

申請者	愛媛県八幡浜市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	290,754千円 (290,754千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 市内に点在する松村正恒建築と各種文化施設とを結ぶ拠点として、文化面での市の魅力を発信する。 近隣施設の利用者や市民、家族連れなどが気軽に集えるスペースを提供することで賑わい創出につなげる。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【施設整備の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設名称：松村正恒モダニズム建築記念館（仮称） 施設所在地：八幡浜市本町一丁目62番1 延床面積：280.74㎡（1F：118.14㎡、2F：123㎡、附属家：39.6㎡） 施設構造：木造2階建て 施設の機能： <ul style="list-style-type: none"> 1F カフェ、フードコート、 2F 松村関連資料を配置、フードコート兼くつろぎの場所 <p>【事業経費】 合計 290,754千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築物本体工事 196,935千円 建築物と不可分な設備工事 60,855千円 解体撤去工事 32,964千円 					 <p>外観完成予想図</p> <p>文化活動センター コミカン</p> <p>文化活動センター コミカン駐車場</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>街並みガイドのボランティア団体に、文化ゾーンの案内をしてもらう。 大学と協力し、市民参加型のワークショップの開催、施設の移築再生 工事の方針と利活用について提言をいただく。 ワークショップの開催により地域住民の意見を吸い上げ、利用者目線での 施設の利活用に関する意見について、事業内容への反映に取り組む。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最 終事業年度までの 「KPI増加分の累計」 の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①人口の社会増減（+45人） ②カフェ利用者数（+34,000人） ③探訪プログラム利用者数（+450人） ④事業を通じた新規雇用者数（+13人）

事業概要【デジタルプラットフォーム構築によるライフスタイル型地域観光・滞在スタイル創出事業】

旧制度（推進）

申請者	愛媛県西条市ほか3自治体※	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	123,324千円 (40,109千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	人（地域事業者等）と人（来訪者）を結びつけるデジタルプラットフォーム(以下、DPFと言う)を構築する。このプラットフォームを通じて、いしづちエリアでいきいきと活躍する住民の生き方、暮らしぶりを来訪者に提案し、関係人口や移住促進へと結びつけるライフスタイル型地域観光・滞在スタイルの創出に取り組む。		
事業概要・ 主な経費	<p>○地域で活躍する人材（キャスト）の生業等に焦点を当てた高付加価値体験や交流プログラムを顧客に提供することができるDPFを開発する。 ・システム開発費（委託費） 10,000千円</p> <p>○プラットフォームが効果的、継続的に活用できるよう、DPFの運営協議を進める。また、キャストの発掘や滞在コンテンツの造成に努める。 ・DPF運営費・キャストの発掘費（委託費） 13,924千円 ・その他事務経費等（役務費、消耗品、謝金ほか） 1,385千円</p> <p>○魅力的なコンテンツの造成方法やユーザー確保のためのノウハウをキャストに提供する人材育成を行う。 ・人材育成経費（委託費） 6,000千円</p> <p>○大都市圏、特に関西圏に在住するZ世代及びデジタルネイティブをメインターゲットとしたマーケティング及びプロモーションに取り組む。 ・マーケティング・プロモーション経費（委託費） 8,800千円</p>		
※経費内訳はR7年度事業費			
KPI	<p>① DPFを通じた来訪者数（目標値+19,313人）</p> <p>② DPFを通じた来訪者による消費額（目標値+405,565千円）</p> <p>③ 登録キャスト数（目標値+400人）</p> <p>④ コミュニティ参加者数（目標値+1,930人）</p>		
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL	https://tabihito.com/	

事業概要【西条市持続可能社会構築・活動人口拡大事業】

申請者	愛媛県西条市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	84,972千円 (28,960千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 小地域ごとに人口バランスの分析を行い、持続化を実現するための生産年齢人口の受入目標値を設定して、地域の特性に応じた具体的な対策を講じることにより、小地域ごとの人口バランスが改善されることが期待されるとともに、各地域の課題解決に向けて、主体的に取り組むコミュニティのリーダーを育成する。 地域自治組織の設立や運営に関する会議などの専門的アドバイスなど必要な支援を行う。 大都市圏での移住フェアや説明会を定期的で開催し、各地域で求められる人材の受け入れを促進する。 移住検討者及び移住者の相談を土日祝日含めて対応できるオンライン総合窓口の新設を行う。 地域に積極的に関与する「活動人口」を増やすためのプログラムを実施し、持続可能な地域の活性化を図る。 デジタルメディアやSNSを活用し、本市の魅力を広く発信することにより、本市に関心を持つ人々が増える。 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○地域自治推進に要する経費 <ul style="list-style-type: none"> ・地域自治組織の設立、運営のアドバイスなど（委託料）4,694千円 ○東京・大阪でのセミナー開催に要する経費 <ul style="list-style-type: none"> ・移住促進業務（委託料ほか）5,301千円 ○移住検討者への対応に要する経費 <ul style="list-style-type: none"> ・窓口設置など（委託料ほか）1,897千円 ○情報発信に要する経費 <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信、サイト機能拡充など（委託料ほか）17,068千円 						
地域の多様な 主体の参画	<p>地元の大学から地域の持続性に関する研究・分析に関するアドバイスをいただくとともに、小地域ごとの人口バランス分析結果や事業計画へのアドバイスをいただく。また、本市においてまちづくり・地域づくりを展開するNPO法人とタイアップし、地域住民の意見の吸い上げのほか、持続可能な地域づくりを進める小地域へのサポート、本市への移住を検討している方へのサポートを行う。更にはシティプロモーションや情報発信に長けた専門家や民間団体の参画により、マーケティング戦略に基づき、メディアやSNS等を活用した情報発信の支援をしていただく。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①移住体験ツアーやアテンドサービス等を活用した移住者数（+225人） ②「消滅可能性地域」に該当する地域への20～39歳の女性移住者数（+21人） ③地域づくりを担う人材の資質向上を目的とした講座等の実施回数（+15回） ④メディアへの露出回数（+15回）

事業概要【西条市中小企業等DX・GX総合支援事業】

申請者	愛媛県西条市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	292,977千円 (81,415千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 ローカルイノベーション分野
目的・効果	<p>・地域経済を支える市内中小企業等のデジタルトランスフォーメーション(DX)及びグリーントランスフォーメーション(GX)を推進し、生産性向上や付加価値の創出、より質の高い雇用を生み出す。</p> <p>・あわせて、デジタル人材確保や多様な働き方の推進、市内企業の認知度向上に向けた取組を一体となって実施することで、DX・GXの促進と産業人材の確保・定着を図る。</p>					
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 (株)西条産業情報支援センター(サイクス)を推進機関とし、新たに設置するDXコーディネーターを核として、DXに取り組む企業を誘発する段階に応じた支援及び人材確保の受け皿となる基盤強化に取り組む。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中小企業等デジタル化実態調査(委託料) 9,242千円 ○地域中小企業等総合支援事業(委託料) 3,603千円 ・コーディネーター・人件費 ○DX・GX推進事業(委託料) 27,308千円 ・DX・GX専門コーディネーター人件費・旅費等 ○地域人材確保支援事業(委託料) 19,984千円 ・コーディネーター人件費、旅費等 ・副業・兼業人材活用等に係る企業向けセミナー・ワークショップ等の開催 ・デジタル人材の確保に向けた若年者向けインターンシップの企画・運営 ・市内企業の認知度向上に向けた事業の企画・試行 ○企業データプラットフォーム構築(委託料) 21,278千円 					
地域の多様な 主体の参画	<p>市内企業や各種支援機関・金融機関等との幅広いネットワークを有する(株)西条産業情報支援センターを推進機関とし、市内企業の事業参画を促すとともに、関係省庁や愛媛県が実施する政策との連携や、県内大学等と共にデジタル人材の育成に取り組み、各機関の持つ知見を事業に反映しながら、より効果的な事業実施を目指す。</p> <p>また、人材確保に向けた企業認知度向上の取組や人材定着に向けた労働環境改善を通じて、市民のシビックプライド醸成や満足度向上に繋げる。</p>				KPI	<p>①市内中小企業等が新たに雇用した人数(+20人)</p> <p>②DX認定を受けた企業数(+3社)</p> <p>③業務効率が3%以上向上した企業数(+32社)</p> <p>④セミナーやワークショップの受講者数(+180人)</p>
	※経費内訳はR7年度事業費				※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【健康都市推進事業～女性の健幸応援プロジェクト～】

申請者	愛媛県西条市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	35,400千円 (11,800千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> • 社会課題である「女性の健康」にフォーカスし、女性の健康課題の解決と男女間の健康格差の縮小を図るとともに、女性のWell Beingの向上を図る。 • また、女性が健康で、自分らしく活躍するポジティブインパクトをまち全体に広げていくことで、将来にわたって「住み続けたいまち」を実現し、転出抑制や転入促進、出生数の増加といった人口の好循環の流れを生み出す。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 女性の健康づくりを公民連携・市民協働により推進するため、「健幸づくり推進パートナー制度」を創設し、推進パートナーが取り組む女性の健康づくりの取組や活動を支援する。 女性が健康づくりを身近で、楽しく、魅力的なものと感じてもらい、健康的な生活習慣の定着や改善といった行動変容につなげるため、専用のポータルサイトを開設する。 地域住民の健康課題や地域特性を踏まえた健幸づくりアクションプランを策定する。</p> <p>【事業経費】 ○健幸づくり推進パートナー支援事業（委託料） 1,500千円 ○女性の健幸づくりプロモーション推進事業（委託料） 5,772千円 ○健幸づくりアクションプラン策定事業 4,528千円 ・アクションプラン策定伴走支援費（委託料） 3,792千円 ・アンケート調査費（通信運搬費、消耗品費） 618千円 ・データ可視化等にかかるBIツール導入費（使用料） 118千円</p>						
※経費内訳はR7年度事業費							
地域の多様な 主体の参画	<p>市民、事業者、団体及び行政との協働による公民連携による健康づくりを推進するため、市内の様々なライフステージの女性にポータルサイト等プロモーションの企画・作成へ参画いただき、意見を反映させる。 健康づくりを進める各種団体・企業等の掘り起こしや、各種団体及び企業等のネットワーク化を図るなど、官民協働により新たな健康づくりの取り組みを創発する。</p>					KPI	<p>①西条市人口（▲4,000人） ②市民（女性）の健康寿命の延伸（+0.40歳） ③女性（20代、30代）の主観的健康感（+3%） ④健幸づくり推進パートナー数（+100件）</p>
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【伊予市版地域DMOを核としたアドボカシー重視の持続可能な観光・交流地域づくり】

旧制度（推進）

申請者	愛媛県伊予市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	225,132千円（52,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域DMOをハブとした観光物産振興に係る合意形成のプラットフォーム機能整備 ・地域DMOをハブとした観光物産振興における地域間交流、政策連携の仕組みづくり ・産業の効率化と担い手確保を目的としたDXへの取組 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>地域DMOを核とした持続可能な観光物産振興事業 【合計 52,000千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○観光・物産施策の積極推進及び観光物産コンテンツの発掘・データベース化（委託料：1,100千円） ○事業者と生産者のマッチング事業（委託料：5,500千円） ○都市部からの来訪者と市民の交流促進事業（委託料：21,200千円） ○新規事業公募実現事業（委託料：5,500千円） ○地域内事業者のデジタル実装化及び新たなビジネスモデルの構築（委託料：17,600千円） ○先進事例等の収集、分析、共有と本市への落とし込み（委託料：1,100千円） 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①地域DMO登録会員(団体)数（+390人(団体)） ②伊予市への観光入込客数（+190千人） ③代表的な観光施設の年間売上額（+49,000千円） ④新規開発商品数（+12点） 		<p>関連URL</p> <p>https://www.city.iyo.lg.jp/keizaikoyou/dejiden.html</p>

事業概要【「日本一の紙のまち」シティプロモーション推進事業】

申請者	愛媛県四国中央市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	197,807千円 (63,373千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 市内のこどもに向けたイベントやデジタルメディアを活用した情報発信を進め、更なるシビックプライドの醸成を図る。 SNS等を活用したシティプロモーションを推進し、若年層の定住を図り、移住者数の増加を目指す。 						
事業概要・ 主な経費	<p>○シティプロモーション推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> SNSを活用した本市の魅力（子育て支援や企業情報）を発信し、本市の認知度の向上とUターンや移住者の増加を図る。 SNS情報発信経費（委託料）：2,992千円 大型展示会に出展し、本市の紙産業の異業種への展開をはかり、本市の認知度向上とシティプロモーションを推進する。 出展委託料：27,500千円 出展負担金：13,618千円 シビックプライド醸成イベント実施経費。 イベント経費（委託料）：5,500千円 <p>○移住・定住促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 移住・定住ポータルサイトでの動画による情報発信機能やSNS連携、他の市ホームページとの連携機能などの拡充を実施するもの。 サイトの更新にかかる経費（委託料）：456千円 本市における子育て支援策や子育てに関する情報をまとめたガイドブックの作成。 印刷製本費：550千円 						
※経費内訳はR7年度事業費							
地域の多様な 主体の参画	<p>地元企業や市内の学校等と連携して、体験型イベントや工場見学の実施、商品開発や実製造の現場の魅力発信を行い、こどもたちのシビックプライドの醸成を図る。</p> <p>また、地元ケーブルテレビ局と連携してシティプロモーションを効果的に実施し、市内外に向けた積極的に情報発信することで、市の魅力・認知の向上に努める。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①四国中央市へのUIターン数（+30人） ②15歳～39歳までの社会増減数（+15人） ③市内高校生の地域貢献活動参画者数（+50人） ④地域活性化事業への賛同連携企業数（+30社）
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【認知獲得から選ばれ移住者も市内若者も住み続けられる西予市へ】

申請者	愛媛県西予市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	72,452千円 (24,064千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 西予市の移住人口、交流人口、関係人口の拡大を図るために、消費行動を起こす際の入り口となる認知獲得により動機付けを行い、観光や市内特産品の購買、関係人口や移住者獲得につなげる。 認知獲得を狙ったシティプロモーションにより流入した移住希望者に対して、地域・仕事・住まいのマッチング、移住後の生活に関するサポート一連の機能を西予市移住定住交流センターに集約させ、検討時期から地域定着まで継続的な支援を可能にする。 二地域居住希望者、教育移住希望者等を視野に入れ、移住体験施設の充実やネット環境の整備などを行うとともに、体験や就農研修事業を地域に一部担っていただくことで、地域の魅力を体験してもらい生活等不安解消につなげる。 市内若者の都市部への片道切符を解消するため、市内で働くことや地元企業への理解を深める機会をつくる。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <p>市に縁のある著名人に市の魅力を広くPRしてもらうことで、市内観光資源や関係者、特産品、移住先として取材される力を向上させる基盤をつくる。市内若者の職業観の意識改革や地域おこし協力隊の自立支援の強化を行うことで、若者の定住率や移住者数の向上となる制度整備を行う。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○認知獲得に向けた戦略的アプローチ ・プロモーション経費（委託料）15,000千円 ○交流人口や移住希望者に関する支援 ・市移住定住交流センターの支援機能強化に係る経費（委託料）5,960千円 ・柑橘就農を希望する移住者に関する支援(補助金)960千円 ・移住体験施設や教育移住希望者の住環境の整備に係る支援(補助金)2,000千円 ○企業と若者の意識改革に関する支援 ・中学生向け合同説明会の開催事業費 144千円 					 <p>移住定住交流センターによる 地域おこし協力隊や移住者に 対する支援</p>	 <p>中学生向けの企業説明会</p>
地域の多様な 主体の参画	<p>愛媛大学や市内27の地域づくり組織と一緒に、地域の魅力や課題を研究し、地域の魅力発信、課題の提言などを整理しながら、事業内容に反映させる。</p> <p>また、市民1人1人が自らの口で市の魅力を語れることが、対外的に大きなプロモーションにつながることから、地元ケーブルテレビ局がプロモーションの伴走役を担う。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①市内への移住者数（+27人） ②地域おこし協力隊の市内定住率（+9%） ③西予市で働くことに興味をもったと回答した生徒割合（+20%） ④西予市の観光情報が網羅されているサイト「せいよじかん」PV数（+102,000回）
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

※経費内訳はR7年度事業費

事業概要【愛媛・重信川最上流のまちから広がるスポーツ交流プロジェクト】

申請者	愛媛県東温市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	241,399千円 (13,431千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野 まちづくり分野
目的・効果	東温スポーツパーク（仮称・サッカーグラウンド、シクロクロスコース、スケートボード場）の整備効果を最大化するため、3つのエリアの総合窓口となるスポーツ交流拠点施設を整備することで、広域からの交流人口の呼び込みや地域経済の活性化、子育て世代への訴求力の向上に繋げ、転入超過傾向の維持・向上を図る。					
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 東温スポーツパーク（仮称）に整備する3施設に隣接する河川敷（建築可能エリア）に、以下の機能を備えるスポーツ交流拠点施設を新築する。また、附帯事業として、交流拠点施設の周囲を魅力的なスポットとして磨き上げるため、キッチンカー等の配置や観戦・休憩を可能とするための外構工事（駐車場、植栽、照明）を行う。</p> <p>【拠点整備事業経費】 ○スポーツ交流拠点施設を整備 ・建築、外構設計 13,431千円</p>					
地域の多様な 主体の参画	<p>東温スポーツパーク（仮称）のサッカーグラウンドを愛媛のプロサッカーチームの活動拠点と位置付け、練習やトレーニングマッチ、青少年向けサッカーイベントやスポーツプログラムを年間通して実施する。 愛媛大学等との連携体制を活かし、交流拠点施設で様々なスポーツ健康プログラムを実施する。</p>				KPI	<p>①地域の人口・世帯数（+822世帯） ②転入超過数/年（+20人） ③スポーツパーク全体の利用者数/年（+43,092人） ④スポーツパーク内で消費が発生するイベント回数/年（+7回） ⑤市外からの来場を伴う試合数/年（+400回） ⑥スポーツ交流拠点施設来館者数/年（+22,000人）</p>
					※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【創業支援と地場企業の強化による“新しいまさき”プロジェクト】

申請者	愛媛県松前町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	49,935千円 (11,695千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<p>地場企業のDXをはじめとした革新的な経営力の強化を推進するとともに、町内でスタートアップ・第二創業事業者等を絶え間なく生み出す事により、イノベーションを持続的に創出する地域経済成長のエコシステムを構築する。</p>						
<p>事業概要・主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○オンラインプラットフォームの構築・運用事業 <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインプラットフォーム 初期導入費 3,300千円 ・オンラインプラットフォーム システム改良費 1,980千円 ・オンラインプラットフォーム サービス利用料 1,320千円 ○オンラインローカルビジネスカレッジ等事業 <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインローカルビジネスカレッジの開校事業費 1,375千円 ○DXアクセラレーション事業 <ul style="list-style-type: none"> ・DXアクセラレーション事業費 3,200千円 ・DXアクセラレーション企業情報の整理と発信業務 220千円 ○学生へのアントレプレナーシップ・シビックプライド醸成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・学生の地域共創による地場資源の利活用の促進事業費 300千円 						
地域の多様な主体の参画	<p>地域の商工会、金融機関等の支援機関の支援により、革新的な経営力の強化を図るとともに、メンターとなる町内外の企業の経営者やこれから創業する起業家・起業を目指す学生等の連携を図ることにより、町内でスタートアップ・第二創業事業者等を持続的に創出するためのコミュニティを形成する。</p>					KPI	<p>①町の創業支援による創業者数 (+30事業者)</p> <p>②オンラインプラットフォームへの登録事業者数 (+650事業者)</p> <p>③支援事業を通じた経営力が強化された事業者数 (+76事業者)</p> <p>④デジタル化の浸透度が「デジタル化による業務効率化やデータ分析に取り組んでいる状態」より進んでいる割合 (+42%)</p> <p>⑤支援事業を通じたDX診断結果の改善事業者数 (+12事業者)</p>

事業概要【温故知新の旧森家を活用した町の新たな魅力創出プロジェクト】

申請者	愛媛県内子町				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	137,762千円 (41,030千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野 まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 旧森家を歴史まちづくりのシンボルとして活用し、「稼ぐ力」を地域に広げる活動拠点とする。 地域資源を活用した新たなビジネス機会を創出し、地域経済の活性化に寄与する。 観光拠点としても活用することで、観光客や交流人口を増やし、地域全体にも効果を波及させる。 					
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ビジネスプランコンテストの開催とスキーム作りに関する事業 <ul style="list-style-type: none"> ・企画支援、大会開催（委託料）9,181千円 ○町内事業者の伴走支援体制づくりに関する事業 <ul style="list-style-type: none"> ・対象者募集、選定、伴走支援（委託料）17,332千円 ○旧森家住宅の運営実証事業 <ul style="list-style-type: none"> ・運営実証、組織作り検討（委託料）10,000千円 <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旧森家テナント整備助成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・テナント整備助成（間接補助）5,500千円 					
地域の多様な 主体の参画	<p>商工会や農家と共同し、新たな商品の開発や販売促進イベントなどを開催。起業家志向や地元志向の若者がチャレンジできるビジネスプランコンテストでは、地元銀行などと連携し優れたアイデアが実現できるように支援する。交流スペースでは地元自治会が主催するイベントなどにより、来訪者との交流も深めながら、町の文化や歴史を体験できるようにしたい。</p>				KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①地域における総観光消費額（+22.5億円） ②観光施設の来場者数（+9,467人） ③起業家等誘致数（+15件） ④空き家・空き店舗入居軒数（+10軒） ⑤ふるさと納税額（+175,327千円） ⑥事業承継マッチング成立数（5件）
					※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

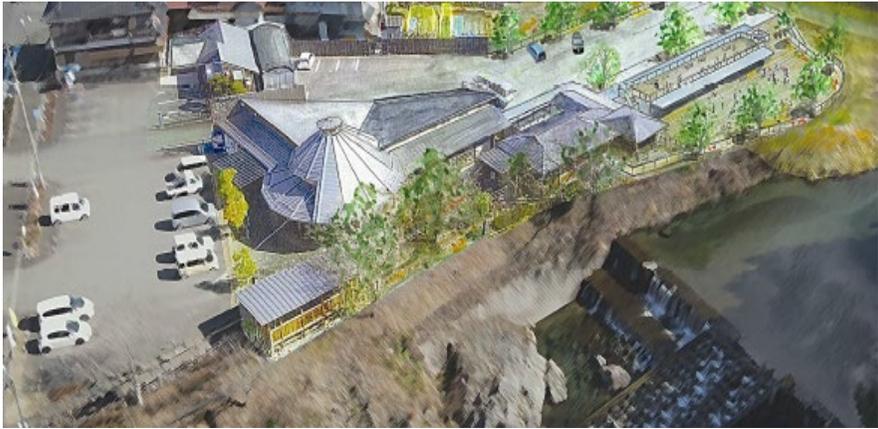
※経費内訳はR7年度事業費

事業概要【小田深山溪谷整備事業】

申請者	愛媛県内子町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	522,583千円 (49,539千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 観光客が安全で快適に自然を楽しむための受入れ拠点及び安定した自己水源の整備し、小田深山溪谷地域への来訪者数を現在の年間17,000人より、年間30,000人を目指す。 自然環境や地域の持続のため、民間資本の導入を図り、施設運営や地域資源を活用した独自産業（受入サービス事業）の形成を目指す。 小田深山の歴史的価値・学術的価値についても、広く発信し、小田深山を守り育てる次世代を育成する。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 受入拠点施設を整備し、観光客に対して情報提供や休憩スペースを提供するだけでなく、地域住民との交流の場とする。 来訪者に安全で快適な水環境を提供するため、水道施設を設置する。 公共エリアに無料Wi-Fiを整備し、訪問者が快適に情報収集発信が行える環境を整える。 <p>【拠点施設整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○受入拠点施設整備 30,663千円 ○飲料用水道施設整備 15,909千円 ○無料Wi-Fi整備 2,967千円 						
地域の多様な 主体の参画	<p>実施主体である内子町と運営者である指定管理者が協力し施設運営、プログラムの推進を行う。積極的な地域住民参加を形づくるため既存の「せんの森クラブ（小田深山ファンクラブ）」との誘客、保全活動の連携実施。また、有識者等が参加する既存の「せんの森プロジェクト運営委員会」が全体的方向性の審議等を行う。</p>					<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①地域における観光消費額（+2,394百万円） ②集客人数の増員（+13,000人） ③拠点施設における観光消費額（+1,500千円） ④深山溪谷来訪者デジタル活用人数（+1万件） ⑤既存キャンプ場利用者数（+100人） ⑥SNS等を使った情報の発信者数（+2千件）

※経費内訳はR7年度事業費

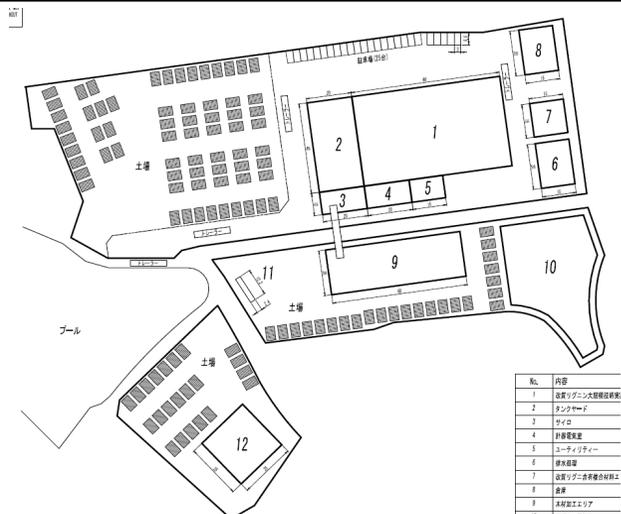
事業概要【道の駅小田の郷せせらぎ整備事業】

申請者	愛媛県内子町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	466,814千円 (60,390千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> • 地域住民参加のイベント等を企画し、高齢者同士や若年層との交流を促進することで、孤立感を軽減する。 • 日常生活用品などの商品を充実させ、地域内での利便性向上に努める。 • 出荷組合員による新商品開発や販路拡大への積極的な取り組みを行う。 • 内子高等学校小田分校では既に【起業家教育プログラム】を実施しており、その研修の場とする。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 「道の駅小田の郷せせらぎ」(店舗)の拡大やコミュニティ施設の整備を通じて、地域住民や観光客に魅力的な空間を提供することにより、売上の増加や出荷者数の向上を目指し、地域住民のニーズに応じたサービス展開を目指すものである。</p> <p>【拠点整備事業経費】 ①施設整備</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.店舗増設 2.倉庫解体撤去 5,940千円 3.親水テラス、展望休憩所 4.加工所増設 54,450千円 5.駐車場整備拡張 6.合併処理浄化槽新設 						
地域の多様な 主体の参画	<p>実施主体である内子町と運営者である指定管理者、出荷者組合及び地域おこし協力隊が共同し道の駅という地域資源を最大限に活用し、地元産品への需要喚起や観光客誘致はもとより、高校生との連携など、若い世代が地域経済に参加する機会を増やし、人材育成にも取り組む。さらに、コミュニティ施設は地域住民同士の交流を促進し、地域全体で支え合う仕組づくりに取り組む。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①地域内人口減の抑制 (-248人) ②集客増員による経済効果 (+4,252千円) ③マーケティング戦略による経済効果(+2,411千円) ④仕入れ先の見直し及び地元産品の6次化への取り組み等によるコスト削減 (-20%) ⑤地域未来留学対象校としての特性を活かした起業家教育プログラムの参加者数(+10人) ⑥高齢者同士や若年層との交流【地域サロン】の実施回数 (+3回)
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【森林資源を活用した地域循環型産業創出事業】

申請者	愛媛県鬼北町				初回採択回	令和7年度第1回募集																						
事業計画期間	R7-R8年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,999,846千円 (412,200千円)																						
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野 農林水産分野																						
目的・効果	地域おこし会社を設立し、森林資源を活用した改質リグニン事業、電気・熱供給事業、木材チップ及び木粉製造事業等を展開することで地域の資金循環を生み出し、持続可能な地域づくりを推進していく。																											
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 豊富な森林資源を活用し、地域おこし会社「森を守る会」を核とした持続可能な地域活性化モデルを構築するため、森林資源活用拠点を整備し、改質リグニンの量産製造、森林整備の推進、木材チップ及び木粉製造、バイオマス発電、再生可能エネルギーの導入などを一体的に展開する。</p> <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○改質リグニン工場建屋整備 <ul style="list-style-type: none"> ・建築物整備：159,000千円 ○木材加工工場建屋整備 <ul style="list-style-type: none"> ・建築物整備：33,200千円 ○用地造成整備 <ul style="list-style-type: none"> ・造成工事：220,000千円 				 <table border="1" data-bbox="1802 971 1926 1113"> <thead> <tr> <th>№.</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>改質リグニン工場建屋整備</td></tr> <tr><td>2</td><td>タンクヤード</td></tr> <tr><td>3</td><td>サイロ</td></tr> <tr><td>4</td><td>貯留庫</td></tr> <tr><td>5</td><td>エネルギーセンター</td></tr> <tr><td>6</td><td>給水設備</td></tr> <tr><td>7</td><td>改質リグニン工場敷地外周フェンス</td></tr> <tr><td>8</td><td>道路</td></tr> <tr><td>9</td><td>木材加工エリア</td></tr> <tr><td>10</td><td>太陽光発電設備</td></tr> </tbody> </table>		№.	内容	1	改質リグニン工場建屋整備	2	タンクヤード	3	サイロ	4	貯留庫	5	エネルギーセンター	6	給水設備	7	改質リグニン工場敷地外周フェンス	8	道路	9	木材加工エリア	10	太陽光発電設備
№.	内容																											
1	改質リグニン工場建屋整備																											
2	タンクヤード																											
3	サイロ																											
4	貯留庫																											
5	エネルギーセンター																											
6	給水設備																											
7	改質リグニン工場敷地外周フェンス																											
8	道路																											
9	木材加工エリア																											
10	太陽光発電設備																											
地域の多様な 主体の参画	<ul style="list-style-type: none"> ●森を守る会、アドバンテック：施設および設備の管理運営を行うとともに、地域住民からの意見の反映や視察希望者への対応等を行う。 ●鬼北町：事業を円滑化を進めるため、地域住民や森林組合等との意見交換会を開催し、その意見等を事業計画に反映する。 ●東京工科大学：改質リグニンの機能評価および用途開発に関する基礎研究を担当し、実証試験の技術的支援、実用化加速のための企業との連携強化等を行う。 ●木質資源有効利用協議会：適切な伐採計画等により、需要変動に対応できる体制を構築し、木材原料の安定供給を確保し、木材調達の調整や品質管理を担う。 				KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①町内林業従事者の増加人数（+27人） ②町内林業に関する総生産額（+150百万円） ③地域おこし会社の総生産額（+1,750百万円） ④要間伐森林の間伐面積（+167ha） ⑤エネルギーの町内生産量（+1,950MWh） ⑥町内林業従事者の所得（+200万円） 																						
					※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値																							

事業概要【地域愛の醸成と地域資源のフル活用によるサステナブルタウン愛南実現事業】

申請者	愛媛県愛南町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	90,000千円 (35,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> • 海業の取組を通じて、将来の担い手となる若者の地域愛を醸成し、地域の担い手の増加を図る。 • 地域の魅力の最大化による関係人口の増加を図り、外部資本を呼び込みつつ地域経済の活性化を図る。 						
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 地域の魅力を磨き上げ、保全し、活用することを通じて、魅力的な地域づくりに取り組み、町外、国外に誇れる愛南町を実感し、地域のために活躍する人材を育成することを目指し、本事業を実施する。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の魅力の再発見、担い手育成事業 ・学習機会の外部化実証事業（事業費、委託費）2,000千円 ・無形民俗文化財等記録保存啓発事業（委託費）1,000千円 ○「ぎょしょく」ツーリズム推進事業 ・海業振興支援事業 体験コンテンツ造成等（補助金）16,500千円 ・国際交流学習、現地実習実施事業（事業費）4,600千円 ・拠点検討事業 道の駅等施設の再編構想作成等（委託費）3,500千円 ○世界とつながる農業・水産業・観光業の持続化実装事業 ・町産農林水産物販売促進事業（補助金）4,400千円 ・一次産業就業体験イベント・マッチング実施（補助金）3,000千円 						
地域の多様な 主体の参画	<p>漁協、農業支援センター、指定管理者、漁業者、養殖業者、農業者、ダイビングショップ等の協力により、体験コンテンツの開発等を行い、一般社団法人Umidasにより、ぎょしょくツーリズム事業の企画・実施・運営をコーディネートする。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①20代の若者人口合計の割合（+4.13%） ②愛南産養殖マダイの輸出額（+0.68億円） ③愛南FAVTOWN会員登録者数（+368人） ④新規体験コンテンツの実施数（+50件） ⑤農林水産業の就業体験人数（+50人）
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	